

わかくさ学級 5・6年 道徳科学習指導案

令和6年2月3日(土) 2校時

わかくさ5組 5年 4名 6年 5名 授業者 鬼頭 奈々

- 1 主題名 命の不思議さ 内容項目:D(17)生命の尊さ
- 2 教材名 「生き物と機械」 光村図書
- 3 ねらい 生き物と機械の違いについて考えることを通して、命とはどのようなものかについて考えさせ、唯一無二の生命を大切にしようとする心情を育てる。

4 展開

	学習活動(主な発問と予想される児童の反応)
導入	<p>1 「生きているってすごい」と思ったときのことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none">・久しぶりに会った赤ちゃんが成長して、ずいぶん大きくなっていた。・おいしいご飯を食べているとき。 <p>命とはどのようなものか考えよう。</p>
展開	<p>2 「生き物と機械」を読んで、話し合う。</p> <p>① 本物の犬とロボットの犬のちがうところは、どんなところでしょう。</p> <p>〈本物の犬〉</p> <ul style="list-style-type: none">・けがをしても自然に治る。死んだら生き返ることができない。赤ちゃんを産む。 <p>〈ロボットの犬〉</p> <ul style="list-style-type: none">・傷がついてもそのまま。動かなくなっても、修理すればまた動く。赤ちゃんは産めないが、同じものを作れる。 <p>② 生き物の大切さや不思議さとは、何でしょう。</p> <ul style="list-style-type: none">・少しずつ成長する。・親と子は似ているところがある。・この世にたった1つ。・心がある。 <p>③あなたは、命とは、どんなものだと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none">・命はかけがえのない、たった1つのもの。この世に同じ命は存在しないし、交換することもできない。・命はなくなると絶対に戻ってこない。リセットすることもできない。・命は限りがある。だからこそ、今を大切に生きていく必要がある。・命が生まれることは、奇跡的なこと。だから尊いもの。・親から与えられた大切なもの。・遠い祖先からつながってきたもので、未来に向かってつながっていくもの。
終末	<p>3 命を大切に生きてするために、意識したいことを考える。</p> <ul style="list-style-type: none">・親から与えてもらった命だから、親に感謝して生きていきたい。・日頃から目の前のことと真剣に向き合い、一生懸命に取り組んでいきたい。

5 評価

- ・生き物は、唯一無二の存在であることに気付き、自分の命を大切に生きていこうとする意欲をもっている。